3P254429-1　M09B091

ダイキンエアコン

二次元バーコードは
製造用コードです。

取扱説明書

機種名（総称名）
エーエヌ　エルイーピー
AN56LEP-W

こんな特長があります。

健康冷房運転 屋外と室内の温度差に気をくばり、体にやさしい冷房運転

快眠運転 体に自然なゆらぎの温度で心地よい眠りを誘います

風ないス運転 直接風を感じにくい、やさしい涼しさ・暖かさをお届けします

特定化学物質の含有状況表示ウエブサイト
http://www.daikin.co.jp/csr/env/j-moss.html

上手に使って上手に節電

- このたびはダイキンルームエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。**ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。** お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
- 保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入を確かめて、大切に保管してください。

ご愛用者アンケートにぜひご協力ください。
今後のよりよい商品開発のためWEB上でアンケートを実施しています。
ダイキンエアコンホームページ
https://www.cs.daikinaircon.com/

フロンについて

家庭用エアコンには最大でCO_2（温暖化ガス）3,600kg（マルチシステムの場合は10,500kg）に相当するフロン類が封入されています。
地球温暖化防止のため、移設・修理・廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

この表示は家庭用エアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。
エアコンの取り外し時はフロン類の回収が必要です。廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロン類の適正処理がされます。

必ずお守りください 安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。
内容（表示･図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。

警告　「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。	注意　「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。

「してはいけないこと」を表しています。	「しなければならないこと」を表しています。

火災や感電、
大けがを防ぐために
お守りください。

⚠ 警告

※電源プラグの有る機種の場合

電源プラグやコードは

禁止

■運転中にプラグを抜かない。※
（感電や放電による火災の原因）

■電源コードを持って抜かない。※
（断線による、発熱や発火の原因）

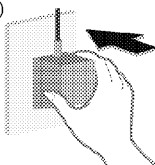
■ぬれた手でプラグの抜き差しや操作はしない。※
（感電の原因）

■途中で接続したり、延長コードの使用、タコ足配線をしない。
（感電や発熱、火災の原因）

■破損させたり、加工したり、傷んだまま、束ねたままでの使用はしない。
（感電や火災の原因）

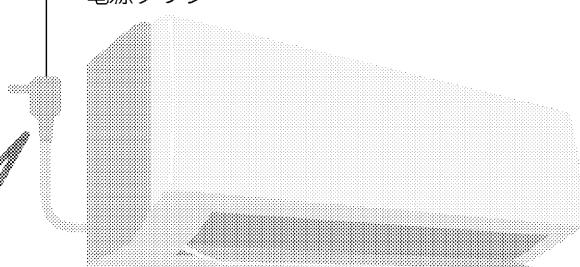
必ず実施

■プラグは根元まで確実に差し込む。※
（接触不良による感電や火災の原因）

■定期的にプラグのホコリを乾いた布でふき取る。※
（湿気などで絶縁不良となり、発熱や発火、火災の原因）

異常・故障時には直ちに使用を中止する

必ず実施

異常・故障例
- ●電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●電源プラグが変色している。
- ●こげ臭いニオイがする。
- ●ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- ●室内ユニットから水がもれる。

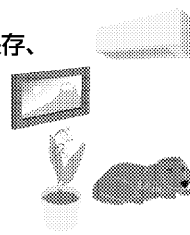
（異常のまま運転を続けると故障や感電、発煙、火災などの原因）
すぐに運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってお買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。

⚠ 注意

室内ユニットは

禁止

■動植物に直接風をあてない。
（動植物に悪影響を及ぼす原因）

■精密機器や食品、美術品の保存、動植物の飼育や栽培などに使わない。
（品質低下などの原因）

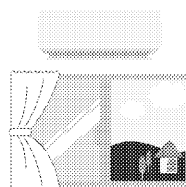
■ユニットの下に、他の電気製品や家財などを置かない。
（水滴が落ちて、汚損や故障の原因）

必ず実施

■燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。
（酸素不足による頭痛などの原因）

■燃焼器具は、風が直接あたらない場所で使用する。
（不完全燃焼の原因）

■乳幼児の手の届くところにリモコンを置かない。
（誤操作による体調悪化や電池誤飲の原因）

ST003

⚠ 警告

ご使用時は

■吸込口や吹出口に指や棒などを入れない。
（けがの原因）

■長時間冷風を体に直接あてない、冷やし過ぎない。
おやすみのときなど、長時間、冷風を体に直接あてたり、冷やし過ぎたりしない。（体調を崩す原因）
特にお子様や高齢者にはご注意ください。

■可燃性のもの（ヘアスプレーや殺虫剤など）は本体の近くで使用しない。
（感電や引火の原因）

据付け・移設・修理時は

■エアコンの据付けや移動、修理、再設置は必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼する。

●アースや漏電しゃ断器が設置されていること。
（感電や火災などの原因）

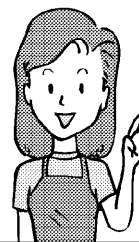
■必ずエアコン専用の電源コンセントを使う。
（他の機器と併用すると、発熱による火災の原因）

■冷えない、暖まらない場合は、冷媒もれが原因の一つと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する。
冷媒追加を伴う修理の場合は、冷媒もれがないことをサービスマンに確認してください。
（冷媒は安全で、通常はもれませんが、万一室内にもれ、ファンヒーターやコンロなどの火気に触れると、有害な生成物発生の原因）

■可燃性ガスのもれるおそれのある場所に設置されていないか確認する。
（万一ガスがもれると、発火の原因）

■ドレンホースが確実に排水するように配管されているか確認する。
（不確実な場合、家財などをぬらす原因）

漏電やけがを防ぎ、
家財などを守るために
お守りください。

⚠ 注意

お手入れ時は

■不安定な台に乗らない。
（転倒など、けがの原因）

■ユニットのアルミ部分に触らない。
（手を切る原因）

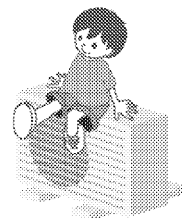
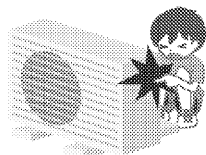
■お客様自身で、工具を使った分解掃除や、改造、内部の洗浄はしない。
（水もれや破損、故障、発煙、発火の原因）

■必ず運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切る。
（ファンが高速回転しているため、けがの原因）

室外ユニットは

■ユニットのアルミ部分に触らない。
（手を切る原因）

■ユニットの近くに、他の電気製品や家財などを置かない。
（暖房時はドレンホースから結露水が出て、汚損や故障の原因）

■ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない。
（ベランダなどの高い場所に設置の場合、転落の原因）

■据付台が破損したまま、放置しない。
（落下につながり、けがなどの原因）

■ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉がたまらないようにする。
（虫などが侵入し、故障や発火、発煙の原因）

運転前の準備

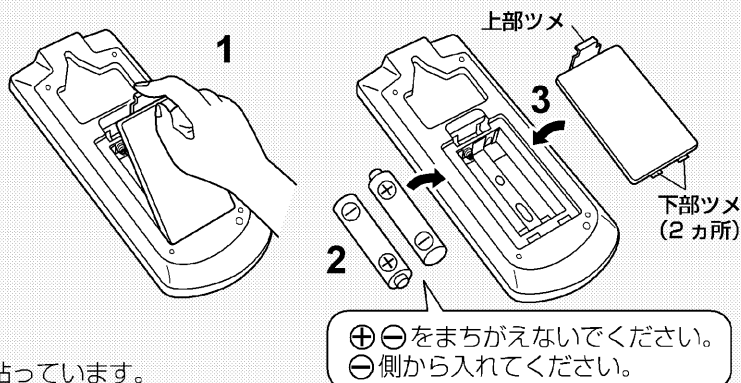
リモコン

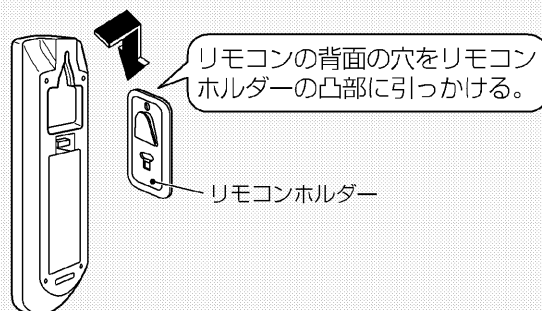
■電池を入れる

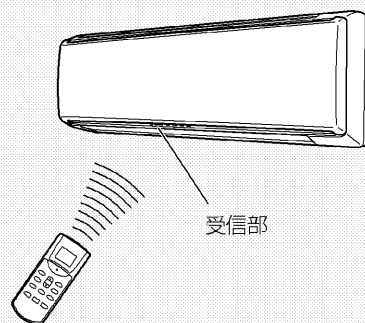
1 上部のツメを下へ引き、ふたを開ける。

2 単４形アルカリ乾電池を２本入れる。

3 ふたの下部のツメ２ヵ所を差し込んで、ふたを閉じる。

傷付き防止のためリモコン表示部に保護シートを貼っています。
使用時はシートをはがしてください。

■壁などに取り付ける場合

●信号が受信される場所を選び、リモコンホルダーを付属のネジで、壁・柱などに取り付ける。

■使いかた

●送信部を室内ユニットの受信部に向けてください。
カーテンなど信号をさえぎるものがあると作動しないことがあります。
●送信できる距離は約７m です。

室内ユニット

■電源プラグをコンセントに差し込む

●電源プラグをコンセントに差し込むと、フラップが一度開きまた閉じます。（故障ではありません。）

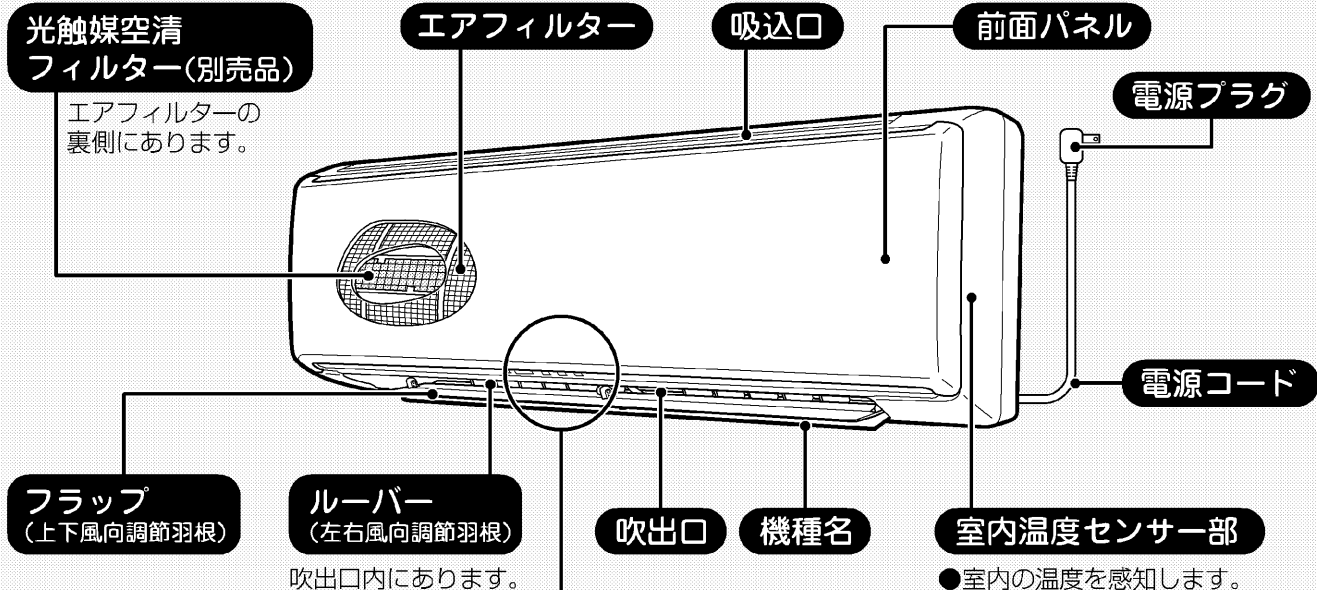
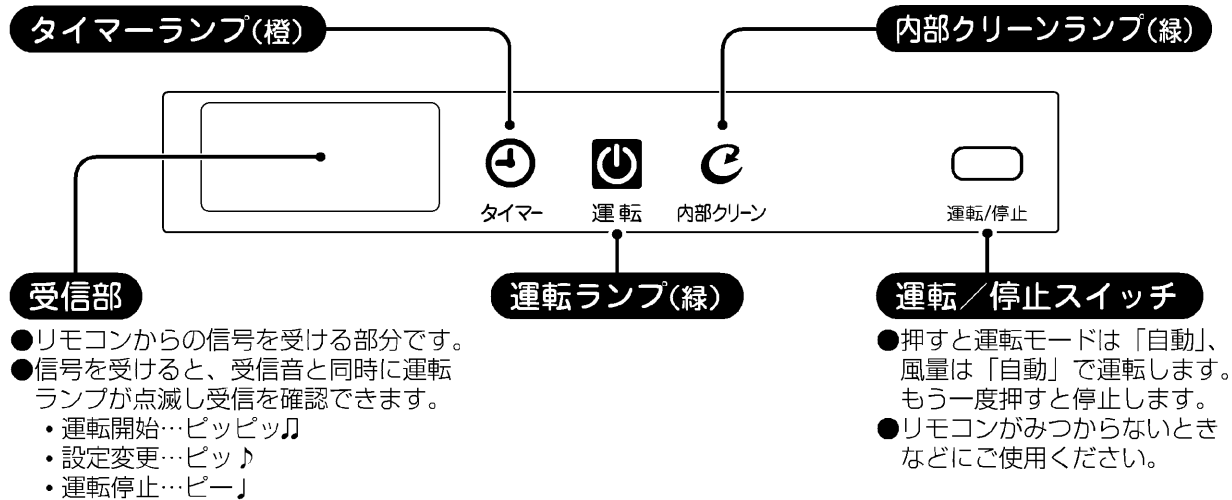
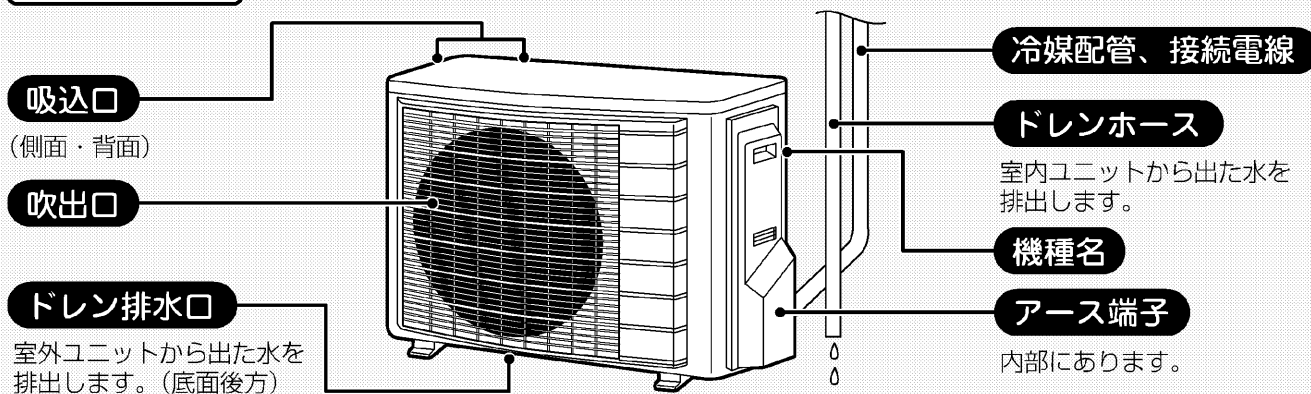
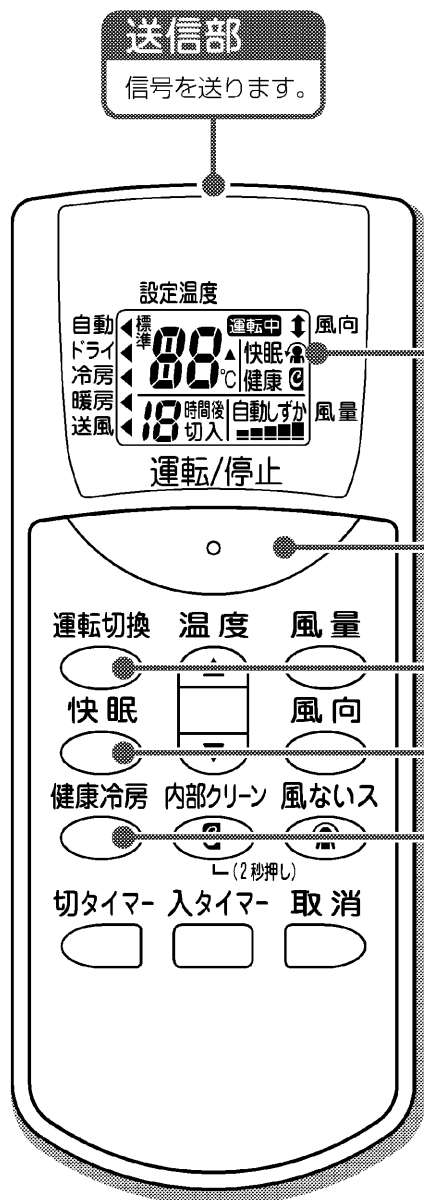
■電池について

●電池を廃棄するときは、端子にテープなどを巻き付けて絶縁してください。他の金属や電池と混じると、発熱･破裂･発火の原因となります。
●電池は、お近くの電器店、時計店、カメラ店などにある電池回収箱に入れてください。
●交換のめやすは約１年ですが、リモコンの表示部が薄くなり受信されにくくなりましたら、２本同時に新しい単４形アルカリ乾電池と交換してください。
●乾電池の「使用推奨期限」に近いものは、交換時期が早くなる場合があります。
●液もれや破裂による故障やけがを避けるため、長期間ご使用にならない場合は乾電池を取り出してください。
●付属の乾電池は、最初にお使いいただくために用意しているもので、１年に満たないうちに消耗することがあります。
●アルカリ電池以外をご使用になると正常に動作しない場合があります。

■リモコンについて

●リモコンを落としたり、中に水が入らないようにしてください。
（液晶部が破損することがあります。）
●電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）や、液晶テレビ、プラズマテレビがあるお部屋では信号を受け付けにくい場合があります。
このようなときには、販売店にご相談ください。
●リモコンで他の電気機器が作動する場合は、電気機器を離すか、販売店にご相談ください。

各部のなまえと働き

室内ユニット
光触媒空清フィルター(別売品)
エアフィルターの裏側にあります。
エアフィルター
吸込口
前面パネル
電源プラグ
電源コード
フラップ
(上下風向調節羽根)
ルーバー
(左右風向調節羽根)
吹出口内にあります。
吹出口
機種名
室内温度センサー部
●室内の温度を感知します。
本体操作部
タイマーランプ(橙)
内部クリーンランプ(緑)
タイマー
運転
内部クリーン
運転/停止
受信部
●リモコンからの信号を受ける部分です。
●信号を受けると、受信音と同時に運転ランプが点滅し受信を確認できます。
・運転開始…ピッピッ♫
・設定変更…ピッ♪
・運転停止…ピー♩
運転ランプ(緑)
運転/停止スイッチ
●押すと運転モードは「自動」、風量は「自動」で運転します。もう一度押すと停止します。
●リモコンがみつからないときなどにご使用ください。
室外ユニット
吸込口
(側面・背面)
吹出口
ドレン排水口
室外ユニットから出た水を排出します。(底面後方)
冷媒配管、接続電線
ドレンホース
室内ユニットから出た水を排出します。
機種名
アース端子
内部にあります。

運転のしかた①

自動運転について

●自動運転は、運転開始時の室内・屋外温度に応じて、自動で設定温度と運転モード(ドライ、冷房、暖房のいずれか)を選びます。

●設定温度と運転モードはその後定期的に見直します。

暖房運転について

●屋外温度が下がり、暖まり不足の場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。

●屋外温度が低いときに暖房運転すると、室外熱交換器に霜が付き暖房能力が低下します。このようなとき、霜取り運転のため、暖房運転が停止し、フラップが水平になり風も止まります。

この霜取り運転(3〜10分間)が終わると再び暖房運転を開始します。

霜取りにより溶け出した水が室外ユニットの下に流れ出したり、湯気が白い煙のように見えることがありますが、異常ではありません。

お知らせ

●「風量自動」で、ドライ・冷房運転を開始すると、室内ユニットにこもったイヤなニオイを抑える機能が働くため、すぐに運転を開始しません。40秒お待ちください。